

素案の概要（案）

新宿区次世代育成支援計画 子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度） 概要

資料3

総合ビジョン 「子育てコミュニティタウン新宿」

4つの視点

- ①子どもの権利を大切に、子どもの幸せを第一に考える視点
- ②家族の多様なあり方を尊重する視点
- ③子育てを社会全体で支援する視点

4つのビジョン

- ①子育てを応援する人とサービスが豊富なまち
- ②ワーク・ライフバランスが実現するまち
- ③支えあいの子育てから新しい出会いと世代を超えた交流が生まれるまち
- ④都市の魅力が子育てに活かしているまち

基本目標（数値目標）

新宿を子育てしやすいまちだと思える人の割合を増やす

- 就学前児童保護者 47.0% → 54.0%
- 小学生保護者 54.9% → 63.0%

（※目標値は前回調査比の伸び率の約1/2とする）

5つの目標

- 目標1
子どもの生きる力と豊かな心を育てます
- 目標2
健やかな子育てを支援します
- 目標3
きめこまやかなサービスですべての
- 目標4
安心できる子育て環境をつくります
- 目標5
社会の一員として自分らしく生きられ

18の施策

- 1 すべての子どもが大切にされる社会のために
- 2 子どもの生きる力を育てるために
- 3 子どもが心身ともに豊かに育つために
 - ①心とからだの栄養素「遊び」
 - ②心とからだの栄養素「文化・芸術」
- 1 安心な妊娠・出産からはじめる子育て
- 2 子どもの健やかな成長のために
 - ①乳幼児の健やかな発達支援
- 1 子育て支援サービスの総合的な展開
 - ①子育て支援サービスの充実
 - ②経済的な支援
- 2 保育サービスの充実
 - ①保育園待機児童の解消
 - ②保育サービスの質の確保
- 3 特に配慮が必要な子どもと家庭のために
 - ①障害児等と家族
 - ②ひとり親家庭
 - ③虐待予防及び被虐待児と家庭
- 4 就学児の放課後の居場所
- 1 みんなで子どもの育ち・子育てを支えあえる環境づくり
- 2 子どもの笑顔があふれるまちづくり
- 3 役立つ情報を届けるしくみづくり
- 4 もっと安全で安心なまちづくり
- 5 未来の子どもたちへの環境づくり
- 1 ワーク・ライフ・バランスが実現できる取組みの推進
- 2 男女がともに自分らしく生きるために
- 3 若者支援の充実

主な特徴

- 家庭の経済状況の違いによる子どもの養育環境の差に応じた細やかな支援について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 次世代育成を世帯形成期まで拡大した視点で、晩婚化・非婚化の現状を明らかにして、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 文化芸術が子どもの成長に大きな力を持つため、子どもが文化芸術に触れることへの「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子どもの健やかな成長のために、妊娠・出産期から乳幼児期、学童期、思春期までを見通した支援の必要性について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子どもの健全な育成に必要な遊び場の確保や子育て支援のサービスの充実について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子ども・子育て支援事業計画による、ニーズ量調査の結果や、保育園待機児童数の増加を踏まえた、確保策や、保育サービスの質の確保について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 障害のある子どもの状況に応じ、地域で生活を送るための支援体制について「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 幼稚園、保育園・子ども園、子ども総合センターにおける、障害のある子どもへの支援体制について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子どもへの虐待が起こる前に、身近な地域からの支援が届く仕組みについて「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 放課後に子どもが安心して過ごせる、学童クラブや放課後子どもひろばについて、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 外国人家庭に対する施策を設定し、外国にルーツを持つ子どもの教育環境の向上について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子どもや子どもを連れて人を温かく迎えるまちづくりの必要性について、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 携帯電話やパソコンの普及より増加による、インターネットの正しい利用方法、フィルタリングの普及や、子どもや保護者への啓発活動の推進などについて、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 子どもの地球環境への関心や環境学習の大切さについて、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 目標5は「ワーク・ライフ・バランスの実現」と「若者支援の充実」を目標として設定する。
- ワーク・ライフ・バランスの実現は、企業へのワーク・ライフ・バランスの普及・啓発と同時に、働く人自身の働き方の見直しについて、「現状と課題」、「取組の方向」を示す。
- 若者支援の充実とは、自己を確立し社会の能動的な形成者となるための支援の実施や、一人一人の状況に応じた総合的な支援を社会全体で重層的に実施するための「現状と課題」、「取組の方向」を示す。

子ども・子育て支援事業計画